

2025 年度(令和 7 年度)

事業報告書

一般社団法人 小平市国際交流協会

会員の状況(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日まで)

普通会員	学生	17 人	賛助会費	個人※	225 口
	個人	104 人			
	団体	0 口		団体・企業	12 口

※ (2 口以上有、普通会員個人と重複有)

1. 多文化共生に関する事業

(1) 日本語会話教室

①日本語会話教室(おとな) <担当(日本語会話教室グループ)>

【内容】外国人を対象に月・土曜日の午前及び金曜日の夜間、ボランティアによる日本語教室を設置する。生活会話を主とするが、ボランティアの体制が可能な限り要望に応じていく。

※各コースとも定期的に指導者が運営する茶話会を授業終了後実施している。

●日本語会話教室 3 クラス合同会議 7 月 18 日(金)/2 月 14 日(土)

●日本語会話教室 金曜日及び土曜日クラス指導者を募集しました。

②日本語会話教室(保育) <(担当:保育グループ)>

※ 月・土曜日は学習者の子どもの保育を行う 保育される子どもは減少傾向

●「おしゃべりタイム」開催 KIFA ロビー

11 月 15 日(土) 午前 11 時 30 分～12 時 参加学習者 14 名

11 月 17 日(月) 午前 11 時 30 分～12 時 参加学習者 12 名

③日本語会話教室木曜日クラス(つなひろ こだいらクラス)

【内容】日本語会話学習の初心者を対象として、生活のための日本語が学べる日本語学習サイト『つながるひろがる日本語』(文部科学省)を使用したクラス。

	月曜日(午前)コース 36 回			土曜日(午前)コース 36 回		
	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期
学習者 一回平均	20 人	16.3 人	14.6 人	16 人	13.7 人	10.5 人
新規申込のための見学者	9 人	6 人	7 人	12 人	12 人	11 人
指導者	9 人	9 人	8 人	6 人	6 人	5 人
茶話会の開催	4 回	4 回	3 回	1 回	1 回	1 回
保育子ども(登録人数)	3 人	4 人	5 人	6 人	3 人	3 人
保育ボランティア(登録数)	18 人※	18 人	18 人	18 人※	18 人	18 人

	金曜日(夜)コース 35 回			木曜日(つなひろクラス)		
	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期
学習者 一回平均	9 人	7.9 人	7.0 人	5 人	3.3 人	3.3 人
新規申込のための見学者	1 人	6 人	3人	6 人	5 人	5 人
指導者	5 人	4 人	5人	2 人	2 人	2 人
茶話会の開催	4 回	4 回	3回	1回	1 回	1 回

3月から「つなひろクラス」は事業名を「コミュニケーションクラス」と変更しました。

※月曜日・土曜日共通

④地域日本語教育推進事業

「国の事業名：地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」※

近年の急激な外国人の増加を受け、2019年には「日本語教育の推進に関する法律」が、施行され、自治体が主導する地域日本語教室の体制整備が全国的に推進している。

小平市内の小平市国際交流協会と地域ボランティアによる日本語教室(7教室)は、個々に活動しており、それぞれの教室の課題の共有や日本語指導者の横断的な情報共有・育成が図られていません。また、恒常的な指導者不足への対応や、日本語が全く話せない外国人学習者への教え方がわからない、指導者の育成の講座の実施が必要などの課題があります。

KIFAでの課題としては、仕事等で学びたくても日本語教室に参加できない学習者や、学習定着率が低く途中離脱する学習者が多いことがあります。一方、日本語教室には、外国人にとって言語学習の場であるだけでなく、居場所や相談場所、情報収集・発信などの生活に必要な機能を有していることが特徴です。

KIFAでは、地域日本語教室のボランティア養成講座等を実施する本事業に取り組み、外国人の皆さんが日本語で円滑にコミュニケーションを図れるような学習の機会を提供し、地域社会の一員として、ともに生きる環境を整えてまいります。

そのため、日本語教室の安定的運営を目指し、教室が抱える課題を解決するため、事業の主要な柱として令和7年9月1日から※「地域日本語教育コーディネーター」をKIFAの事務室に配置し、小平市と連携して地域日本語教育推進事業に取り組んでおります。

※地域日本語教育コーディネーターとは…

日本語教育の現場で日本語教育プログラムの策定・教室運営・改善を行ったり、日本語教師や日本語学習支援者に対する指導助言を行うほか、多様な機関との連携・協力を担う者

この事業は、外国人が地域で安心して生活できるよう、日本語学習の機会と支援体制を自治体を中心となって整備する国の補助事業です。市は都から財政支援を受けて、KIFA に補助金を支出し KIFA は地域日本語教育コーディネーターを配置します。」

●支援者養成講座の開催(小平市小川公民館 地域支援講座)

日時: 11月7日・14日・21日・28日(金曜日)午前

場所: 小川公民館

【内容】日本語を勉強したい外国人を手助けするボランティアの養成を目的とした講座

【参加者】 9人

●津田塾大学との連携

地域日本語会話教室から学生の指導者の確保について相談があり、津田塾大学と調整がつき募集のチラシを配布しています。また、大学から在籍する留学生へ KIFA イベントの周知と日本人学生のボランティアの案内(こども日本語・学習支援)について調整し、実施していきます。

●支援者養成講座受講者への立ち上げ支援等(小平市小川公民館) 【連携事業】

日時: 1月23日(金)、2月27日(金)、3月27日(金) 場所: 小川公民館

【内容】地域日本語教室の立ち上げを希望している小川公民館支援者養成講座修了者に立ち上げ支援する。

【参加者】 5人

【他の教室への紹介】地域日本語会話教室、KIFA こども日本語・学習支援へ 2人

●支援者養成講座の開催(小平市大沼公民館 地域支援講座) 【連携事業】

日時: 1月27日・2月3日・10日(火曜日)午後 場所: 大沼公民館

【講師】三代副理事長等

【内容】日本語を勉強したい外国人を手助けするボランティアの養成を目的とした講座

【参加者】 16人

【内容】 在留外国人の状況と施策理解、基本的な心構えやコミュニケーションの仕方
やさしい日本語の紹介、活用事例、日本語教育のリソースの把握と活用事例紹介

⑤ JLPT 模擬試験 & 解説(春・秋開催)

＜担当(日本語会話教室グループ)＞

【内容】模擬試験とその解説。

期間・回数	春・2回	秋・2回
受講者	2人	2人
指導者	3人	2人

人数が集まらないため、令和8年度より廃止決定。(担当指導者の了承済み)

(2) こども日本語・学習支援 ＜担当(こども日本語・学習支援グループ)＞

【内容】外国につながる児童・生徒を対象に水曜日の放課後、日本語と学校の勉強をひとり一人に合わせて行っています。

曜日・時間	水曜日 16:10～17:40（途中で10分休憩）
回数	1学期 14回、2学期 16回、3学期 9回、夏休み 4回 合計 43回
在籍児童総数	27名（小1～中学3年）
登録ボランティア数	28人
「にじいろひろば」	配布先 市内公立小中学校教職員 発行部数 1100部 No.12 7月1日発行／「小平市内の外国ルーツをもつ子どもの教育に関わる教員への調査」／KIFA ボランティアが夏休みの宿題を一緒にやります！
親カフェ （保護者会）	【内容】保護者とのコミュニケーションの場がないため、気軽に話しができる会として開催した。 ●日時は、7月16日（水）午後5時～6時 ●対象者は、こども日本語・学習支援に来ている児童・保護者 当日参加者 5組6名 ●通訳は、中国語の通訳ボランティアが参加し、進行もやさしい日本語で行った。 ●保護者からは、家庭での様子や教育方針、KIFAへの要望について話し合った。 ●絵の鑑賞（美術鑑賞のワークショップ） 「絵について話そう ムサビ生と楽しむ対話鑑賞」を武蔵野美術大学の学生6名により行われた。

○「親カフェ」の実施

＜担当(こども日本語・学習支援グループ)＞

- ・日時 7月16日(水)午後5時～6時
- ・参加者 外国ルーツの子どもの保護者とこども日本語・学習支援のボランティアとの交流
- ・外国人 5組6名
- ・同時開催 武蔵野美術大学学生6名による子どもたちに向けた美術鑑賞のワークショップ。

七夕まつり

ムサビ生と楽しむ対話鑑賞



○外国から来た親子のための小学校準備教室＜担当(こども日本語・学習支援グループ)＞

- ・事業内容 9才までの外国ルーツの子どもに小学校入学前に必要な日本語の読み書きや、日本の小学校での習慣などを学ぶ
- ・期間・回数 令和7年11月16日(日)／12月13日(土)
令和8年1月17日(土)／2月14日(土)／3月14日(土)
全5回 午後2時～3時

○11月16日(日) イベント 多文化理解講座～モンゴル編～

「スーホーの白い馬」読み聞かせ ＜担当(こども日本語・学習支援グループ)＞

※絵本の読み聞かせは、毎週水曜日 こども日本語・学習支援の授業終了後行っています。

(3)第11回小平市日本語発表会 担当(市、日本語会話教室グループ)

【事業目的】小平市における日本語学習の成果を発表する統一的な場を設定し、スピーチを広く市民の方々に聞いてもらうことにより、多文化共生の促進を図る目的。

【協力】市内の日本語支援ボランティア団体(7団体)及び小平市国際交流協会日本語会話教室

- 発表内容 日本に住んでいて感じたことや体験したことを日本語で発表する。
- 時期・会場 12月14日(日)午後1時30分～ 中央公民館ホール
- 発表者 10人 (内小学生2名、中学生1名)／主催者 8人／観客 92人
- 準備会議2回、振り返り会議1回を実施した
- 動画配信 市のホームページで発表会の模様を公開する。
- スピーチ終了後 交流会を行いました。／小学生の学校関係者が参加していただいた。



(4) 翻訳・通訳事業

<担当(翻訳・通訳チーム)>

- 他事業グループが主催する事業の広報チラシなどの翻訳協力・通訳協力
- ネパール語等の少数言語は、母語話者の外国人に通訳派遣を依頼
- 行政機関からの通訳依頼への派遣／行政機関からの文書翻訳依頼への対応
- 「やさしい日本語」担当をサブグループに位置付け、勉強会と文書のリライト発行。

事項	内 容
○派遣通訳 (英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・韓国語) 【ボランティア登録言語】 (ネパール語【市内在住外国人】)	・市役所担当課 6 件 ・保育園・幼稚園 9 件 ・小学校 10 件 ・合計 25 件
○外国人のためのリレー相談会への派遣	開催 9 月 28 日(土) 主催 関東弁護士会連合会、東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会 派遣 KIFA から 2 名(スペイン語)派遣
○通訳勉強会 「一般財団法人 自治体国際化協会」 地域国際化推進アドバイザー派遣事業	開催 11 月 8 日(土) 午後 2 時～4 時 30 分 言語 英語／参加者数 9 名 講師 西村明夫氏(日本公共通訳支援協会 代表理事) 宮城京子氏(英語通訳指導) KIFA では、日本語が母語でない方の生活支援の一環として、通訳(コミュニティ通訳)を派遣。KIFA 翻訳・通訳グループでは、実際に地域で活動する通訳者のための勉強会を毎年実施している。 内容 前半 座学(通訳者の倫理綱領)／後半 模擬通訳トレーニング
災害時多言語翻訳 シミュレーション訓練参加※	・ 8 月 22 日(金)「東京都つながり創生財団主催 翻訳訓練の参加 参加者：英語 2 名、やさしい日本語 2 名、中国語 1 名 当日は、台風 10 号のため対面方式からオンライン方式に変更した。 ・ 8 月 30 日(土)「東京都主催 翻訳フィードバック研修」参加者 英語 1 名、中国語 1 名
やさしい日本語勉強会	11 月 16 日(日)イベント 「避難所でできる体操」 やさしい日本語にして冊子を作成

(5) 生活情報提供 <担当(生活情報提供チーム)>

【目的】在住外国人の抱える課題を探り、必要としている生活情報の提供を行うことにより、在住外国人の日常生活の利便性を図る。

外国人のための小学校入学相談会

小学校入学に関する説明会および個別相談会を実施し、外国人保護者への継続的なサポートを行う。

多文化カフェ

在住外国人のニーズの収集及び居場所づくりのため、ボランティアと在住外国人の懇談の場を提供する。

こだいらライフ

有志メンバーにより外国人向けの SNS を運用（インスタグラム、フェイスブック、旧ツイッター）。イベント、生活、お店、日本文化の 4 分野の情報を定期的に発信。フォロワーが 765 人を超えた。（2025 年 11 月 13 日）

日 時	参加人数	備考
多文化カフェ① 5 月 1 8 日（日）	7 名	日本の梅雨
多文化カフェ② 7 月 2 0 日（日）	6 名	ホームタウン自慢
多文化カフェ③ 9 月 2 1 日（日）	12 名	ホームタウン自慢
小学校入学相談会① 1 0 月 4 日（土）	0 名	開催終了後、公立・私立園長会・校長会（予定）で市と連携して相談会の PR を行いました。
多文化カフェ④ 1 1 月 1 6 日（日）	4 名	避難所のできる体操
多文化カフェ⑤ 1 月 1 8 日（日）	7 名	ホームタウン自慢 日本語発表会や日本語教室学習者の参加有
小学校入学相談会② 3 月 1 4 日（土）	2 名	入学に必要な書類と学校で使う用具類の確認
多文化カフェ⑥ 3 月 1 5 日（日）	9 名	ホームタウン自慢
小学校入学相談会③ 3 月 2 8 日（土）	1 名	入学に必要な書類と学校で使う用具類の確認

多文化カフェ①



多文化カフェ②



多文化カフェ③



○小平市民まつりに出店
日 時 10 月 19 日（日）



<担当(生活情報提供チーム)>



多文化カフェ④



(6) 災害時対応チーム

<担当(災害時対応チーム)>

事項	日時・事業名
日本語学習者に「やさしい日本語版「避難者カード」」を実際に書く練習	7月18日(木) つなひろ こだいらクラス 【テーマ】 やさしい日本語版「避難者カード」を書き方の説明
避難所でできる体操 ～15分間だけ 気軽に体を動かそう!～	日 時 11月16日(日)午後 場 所 学園西町地域センター 被災後にとっても大切な「心身ともに健康維持」に役立つ体操の紹介
災害時外国人支援 避難所における外国人支援研修 (主催 つながり創生財団)	日 時 12月5日(金)午後 場 所 たましん RISURU ホール(立川市市民会館) 参加人数 1名

◆多文化共生に関する研修

研修名	日時	対象	場所	主催
○2025多文化共生基礎研修	4月24日 午後	市・国際交流協会・社協職員、市民団体関係者	協会職員参加 リモート	つながり創生財団
○災害時外国人支援基礎研修	6月25日 午前	市職員、国際交流協会職員	協会職員参加 リモート	つながり創生財団
○地域日本語教育の体制づくり担当者向け研修会	9月17日 午後	自治体職員や国際交流協会職員など、東京都内で地域日本語教育の体制づくりに関わる方	協会職員参加 リモート	つながり創生財団
○外国人相談の基礎知識 <現場で役立つ! 在留資格の最新動向編>	10月30日	講師 長澤 雄二郎氏 対象 市・国際交流協会・社協職員、市民団体関係者	協会職員参加 リモート	つながり創生財団

◆市の多文化共生に係る取り組み

○市では、令和8年4月市の地域振興部市民協働・男女参画推進課の多文化共生担当を、男女参画・多文化共生担当に変更し、担当者として3名配置しました。市との連携は小平市の転入者全員に KIFA の案内チラシ・地域日本語会話教室案内チラシを転入者全員に配布しています。

○「外国人のかたへ」を市民課窓口で外国人に配布 資料有

○令和7年度は、多文化共生に関するアンケートの実施(外国人と日本人を対象)

このアンケートは、増加傾向にある外国人の生活に関するニーズや日本人と外国人が共に暮らすうえでの課題などを把握するために実施します。9月5日市報掲載

外国人向けアンケート 2000部発送 9月24日郵送開始 対応言語(日本語・英語・中国語・韓国語・ベトナム語)

日本人向けアンケート 対象者 市内在住のすべての日本人

※データ 小平市人口 令和8年1月1日現在 6,877人
(前回10/1 216人増)

Ⅱ 国際交流に関する事業

(1) ホームビジット

＜担当(事務局)＞

【内容】 参加希望の外国人（ゲスト）毎に、ホストをマッチングして、訪問家庭を決定する。

受け入れ家庭がゲストの希望をヒアリングして、半日程度の家庭訪問を実施する。

【ホスト】 普通会员と学生会員（どちらもボランティア会員）および理事から募集

学芸大学からタイ留学生へのホスト紹介の依頼あり。留学生の 13 人に対し、ホスト 5 名をマッチングした。

(2) スポーツ交流の促進 こだいら市民駅伝大会

＜担当(交流イベントグループ)＞

【内容】 小平市駅伝大会に向けて 11 月から練習を開始した。練習は皆でストレッチをして、走らなくても参加できます。2 チーム参加予定

【日程】 2 月 1 日(日)午前 10 時スタート

【練習日】 11 月 22 日(土)、12 月 6 日(土)、12 月 20 日(土)、1 月 10 日(土)、1 月 24 日(土)

【参加選手】 外国人選手 4 人(中国 1 名、ペルー 1 名、フランス 1 名、キルギス 1 名)



(3) 交流イベント ＜担当(交流イベントグループ)＞

○高尾山ハイキング

令和 7 年 4 月 13 日及び 10 月 25 日の高尾山ハイキングは、荒天のため中止した。

○たこ焼きパーティー 6 月 21 日(土) 参加者 13 人

3 月 7 日(土)

○茶道体験 8 月 30 日(土) 参加者 5 人

○ボランティア懇親会 11 月 16 日(日)

対象者: KIFA ボランティア、日本語学習者、KIFA ボランティアに興味がある方

茶道体験



たこ焼きパーティー



Ⅲ 国際理解に関する事業

(1) 国際こどもクラブ

<担当(国際理解講座グループ)>

期間	受講料	受講者	講師	ボランティア
6月14日～7月12日 毎土曜日 全5回	5,000 円	14 人	・英会話講座 アメリカ出身 ・多文化理解講座 (講師出身国) ウズベキスタン、アメリカ、 チリ、台湾、モンゴル	各回 3 人

※多文化理解講座では、昨年度から新たな取り組みとして、講師と子どもたちが双方向のコミュニケーションを促すプログラムの提案があり、子どもたちを3つのグループに分け、講師の国について学ぶグループワークを実施し、最後に子どもたちの発表が行われた。



(2) 英会話教室

<担当(事務局)>

【目的】 ネイティブの講師により、英会話力の向上を図る。語学力に磨きをかけることによって、協会プログラムやボランティア活動への参加を図る。

【内容】 レベル別クラスを10クラス設置。応募状況の差が大きく今後の課題

(3) 外国語会話教室

＜担当(事務局)＞

- 入門 中国語講座
- 初中級フランス語講座

(4) 多文化理解講座

＜担当(国際理解講座グループ)＞

○多文化理解講座 in English

- ① 内容 留学生等の講師による多文化理解講座を英語で行う。
- ② 期間 10月11日 /10月18日 /10月25日
- ③ 受講料 会員 1,000 円、一般 1,600 円
- ④ 参加人数 22 人 (募集定員 24 人)

○多文化理解講座 ～モンゴル編～

- ① 内容 講演 (モンゴルの紹介)、「スーホーの白い馬」読み聞かせ
馬頭琴の演奏とホーミーの歌唱、モンゴルミルクティーの試飲
- ② 日時 11月16日(日)10:00～12:30
- ③ 参加人数 おおよそ 47 人



(5) 世界の料理紹介

＜担当(世界の料理グループ)＞

○ 夏休み親子料理教室 焼餅をつくろう！ 8月30日(土) 津田公民館

講師 李徳鑫^{りとくきん} 氏

○飾り巻きずしを作ろう 2月18日(水) 地域センター2階 調理室

【参加者】7名

【講師 飾り巻き寿司マイスター】小笠美枝子氏

IV 情報収集、調査研究及び広報

(1) 機関紙発行 ＜担当(機関紙グループ)＞

【内容】 協会で行った事業やボランティアの活動取材し、外国人インタビューや特集記事を企画して、記事を執筆する。編集会議で校正、レイアウトを決めて印刷業者に発注し、機関紙を発行する。 A4判、カラー刷り。部数 1800部

(2) 情報紙(ミニレター)の発行

＜担当(事務局)＞

①内 容 協会で行う行事などを中心に編集し、情報紙を作成・発行する。

②回 数 年10回(8月、2月は前月号と統合) ③部 数 1,800部

(3) KIFA 漫画の印刷

①内容 武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科の授業で、生活情報提供チームに参加した学生ボランティアが「マンガで伝える How to use KIFA」を作成

②実績 4000部作成 価格 38,070円

主な配布先 ISDAK 400部 市役所、図書館 生活情報提供チーム 在庫 2500部

②実績 4000部作成 価格 38,070円

主な配布先 ISDAK 400部、津田塾大学 100部、市役所、図書館、市民まつり

VI 連携事業

V その他事業

事業名	時期	連携先等	連携内容
武蔵野美術大学 多文化共生論（教養科目）	5月16日 (木)	武蔵野美術大学 教授 三代純平先生	三代先生の開講する「多文化共生論」にて、地域における外国人支援団体として活動を紹介。
令和7年度多文化共生 中域ネットワーク情報 交換会	10月16日 (木) 立川商工会 議所	東京都生活文化局 東京都つながり創生財団 各市の多文化共生担当 (立川市／昭島市／小平市／日野市／国分寺市)	構成団体・市は、社会福祉協議会の圏域を踏襲した。 ○ウクライナ避難民 ○交流事業・イベント ○日本語教室の運営状況 ○日本語ボランティアへの謝金 ○ゼロ初級者への対応(日本語での指導が困難な場合の対応について)
東京経済大学 SDGs シンポジウム	12月4日 (木)	東京経済大学 SDGs 推進委員会 小田登志子東京経済大学 教員 KIFA ボランティアが登壇 北川裕之氏 原聡子氏	KIFA ボランティアに登壇の依頼 東京経済大学関係者及び国分寺地域の市民が集い、国分寺市内及び周辺地域で増加しつつある外国ルーツの児童生徒の状況に関する理解を深め、地域社会で共生社会を実現するための課題を話し合う。 参加者同士の意見として、行政の外国ルーツの子どもたちに対する支援の遅れが指摘された。 ※小金井国際支援協会(KISSA)が参加。
市内公立小学校への出前 授業へのボランティア募集	9月 11月	①小平市立花小金井小学校 5年担任 ②小平市立第十小学校 外国語担当	ISDAK の留学生に対して、各学校から国際交流・国際理解を目的に総合学習等の授業に派遣する事業を KIFA 事務局が取り次いでいます。 事務局は、学校が作成したメールを ISDAK の管理室にメールして、管理人が留学生に一斉メールをしています。 留学生の報酬は給食です。

協会運営

開催日時・場所	社員総会
社員総会 5月17日(土) 学園西町地域センター1階集会室にて	①令和6年度の事業報告について ②令和6年度決算及び監査について ③令和7年度事業計画(案)について ④令和7年度予算書(案)について

開催日時・場所	理事会
第1回 理事会 4月21日(月) リモート開催	①令和6年度の事業報告について ②令和6年度決算及び監査について ③令和7年度事業計画案について④令和7年度予算案について⑤後援名義等使用承認申請について
第2回 理事会 9月22日(月) リモート開催	①令和7年度事業報告について ②小平市に対しての要望について
第3回 理事会 12月8日(月) 第2会議室及びリモート開催	①今年度の事業報告 ②11月16日のイベントについて※ ③地域日本語教育推進事業(地域日本語教育コーディネーター)の取組内容について
第4回 理事会 3月9日(月)	

開催日時・場所	連絡会
第1回 連絡会 4月19日(土) 集会室	①KIFA 連絡会について ②理事会の結果報告について ③社員総会について④11月のイベントデーについて
第2回 連絡会 9月6日(土) 集会室	①今年度の事業報告 ②小平市に対しての要望について ③11月16日のイベントについて
第3回 連絡会 11月29日(土)集会室	①今年度の事業報告 ②11月16日のイベントについて ③地域日本語教育推進事業(地域日本語教育コーディネーター)の取組内容について
第4回 連絡会 2月14日(土) 集会室	①第3回連絡会以降の事業報告について ②各ボランティアグループのこれからの事業予定について ③令和8年度の事業について